



No.63

Batton

The best attended top team of next

新年度を迎え

新体制で臨みます！！

北上済生会病院院長代行
佐藤 智彦



皆様には日頃から北上済生会病院をご支援いただき心から御礼申し上げます。

いよいよ、春爛漫の新年度を迎えました。今年には当院の職員も病院幹部を初め大幅な人事異動がございましたのでここにお知らせいたします。先ず、嶋村院長先生が退官され、私が昨年末に引き続き院長代行として務めさせていただきます。次に看護部は青山節子総師長、事務部門は小松一幸事務長です。青山総師長は県立中央病院をはじめ幾多の県立病院の総師長を経て県医療局の看護指導監をなされ、小松事務長も各県立病院の事務局長を歴任されて御両人共に病院の管理指導におきましては超ベテランの方々です。医局では呼吸器科兼臨床検査科科長として関村研之先生、外科兼栄養管理科科長として細井信之先生、消化器外科兼薬剤科長として小松英明先生、産婦人科医長兼診療放射線科科長として児玉秀夫先生、眼科科長として菅原剛先生、整形外科医師として張間鴻宇先生、泌尿器科医師として小野田充敬先生といずれも新進気鋭の先生方が着任されました。そして実際の治療に関わるコ・メディカル部門ではリハビリテーション部の大幅な増員（理学療法士13→17人、作業療法士8→12人）があります。これは当院の回復期リハビリテーションの充実と、国が推し進めている地域包括ケアシステム構築の一環としての包括ケア病棟の充実を見据えた人員の強化です。

以前にも、この「連携室だより」で述べさせていただきましたが、「地域医療福祉連携室」は「病院の要」であります。病院という大きなシステムの中では如何に情報を的確に伝え連携して行くかが重要であり、それが機能して行かなければ組織は成り立ちません。病院の広報活動は勿論のこと、院外においては、前方連携の主役である高度急性期を担う県立中部病院との連携が中心となり、横の連携としては近隣の基幹病院や北上医師会の先生方との連携があり、後方連携としては同じく北上医師会の先生方のクリニックや各介護施設との病診・病病連携があります。そして院内におきましては各部署への情報提供、診療支援、医療相談等々の業務をスムーズにこなして行かなければ病院の運営は成り立ちません。

以上の種々の情報活動を地域医療福祉連携室の私達が全知全能を持って、どんな事でも伺いますのでお申し付け下さい。

最後にスタッフの紹介です。室長は院長代行の佐藤智彦、副室長は千葉健一副院長、事務部門は清水陽一郎連携室次長、齋藤薫主査、菊池愛事務員、石川なおみ事務員、医療社会事業士（MSW）は菊池涼子主任、及川裕香、そして照井昌子看護師長の強力メンバーです。

以上、我々スタッフ一同、これからも全力を尽くしてまいりますので今後とも皆様よろしく、ご指導ご支援の程お願い致します。



お問い合わせ先：北上済生会病院 地域医療福祉連携室

電話：0197-64-7722（内線 1220・1221・1530・1531）

FAX：0197-64-1133（直通）

